

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	民生委員活動費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3114

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 35 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	民生委員児童委員は、厚生労働大臣より委嘱を受けて一期3年地域福祉の推進役として活動を行っており、市内16地域に単位民生委員児童委員協議会が存在している。民生委員児童委員の相談技術等向上を目的とした研修・会議などへの参加や、地区社協等とともに地域福祉推進を図るため、活動費の支援を行う。また、民生委員児童委員の欠員補充を行うため、推薦会を開催し、委員の選任を行う。						
対象	4. その他	民生委員児童委員					517 人
根拠法令等	法律等	民生委員法					
事業実施内容	地域福祉の推進役として住民に必要な援助を行い、行政との橋渡し役を務める民生委員の活動推進のため支援を行った。また、民生委員推薦会を開催し、欠員地区委員の選任を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () : () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	65,862 千円	報酬	31,434 千円	非常勤職員(日額:推薦会委員・月額:民生委員)報酬
		賃金	1,107 千円	臨時職員賃金
		旅費	29,967 千円	民生委員旅費
		負担金	3,231 千円	地区活動費負担金
その他		123 千円	報償費・需用費・役務費	
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	65,862 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	33,231 千円	
その他 ()				
一般財源	32,631 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.40

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	77,098	82,266	80,740	78,890			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	73,354	80,953	81,117	79,353			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	62,852	66,484	66,617	65,862			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	10,502	14,469	14,500	13,491			
	職員数(常勤 非常勤)	1.10 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.40 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,944	13,652	13,829	12,834			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	558	817	671	657			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,744	1,313	-377	-463			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,744	1,313	-377	-463			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	183.30	420,619	193.52	425,105	188.87	427,501	183.76	429,317

成果実績	指標名	相談・支援件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	6,696	単位 件	6,044	単位 件	6,262	単位 件	6,434	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		「相談・支援件数」は数値としては少ないことが望ましいため、目標数値の設定は不可能								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		11,514.04		13,611.18		12,893.64		12,261.42			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	民生委員児童委員の負担軽減及びなり手不足の解消
(2) (1)解決のための今後の取組	平成30年度に策定した「民生委員児童委員が活動しやすい環境整備に向けた調査結果～市としての支援方針～」に基づき，地域実情に即した民生委員児童委員の活動支援を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	民生委員児童委員は，地域住民に必要な援助を行い，また，地域と行政の橋渡し役としても機能し，地域福祉の推進に寄与した。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	民生委員児童委員は，地域福祉の担い手として欠かせない存在であるため，今後も継続して支援を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	民生委員に関すること	無	無	1	
7	民生委員に関すること(民生委員児童委員協議会の支出・収入に関すること)	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

成果実績	指標名	行旅人等への旅費支給件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		43	単位	36	単位	33	単位	37	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	行旅途中の所持金の紛失対応等によるものとなり、支給件数について目標を設定できないため。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			4,443,372.09		5,187,722.22		5,807,303.03		3,407,054.05		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	分庁舎への移転に伴う(仮称)地域福祉推進プラザの運営及び今後の市社会福祉協議会のあり方について
(2) (1)解決のための今後の取組	(仮称)地域福祉推進プラザの円滑な効果的な運営に向けて，関係機関との継続的な調整を行う。また，地域福祉の推進にあたり，市社会福祉協議会は必要不可欠な存在であるため，その補助等を継続しながら，事業等の見直しや職員の定年退職を見据えた執行体制を協議していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市地域公益事業推進法人協議会の設立や福祉なんでも相談窓口の開設準備を行う中で，藤沢市内社会福祉法人が連携して多様化・複合化する生活課題等の解決に向けた取組を行うための基盤作りを行うことで，地域福祉の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市社会福祉協議会の持つ社会福祉法人等とのネットワークを活かした取組を継続するとともに，藤沢型地域包括ケアシステムの推進のため，今後もその中心的な存在である市社会福祉協議会への補助は現状のまま維持する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	社会福祉協議会の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域福祉推進事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	008	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域福祉を推進するために、ふじさわボランティアセンターを運営し、各地区の社会福祉協議会及びボランティアセンター等と連携した取組を実施する藤沢市社会福祉協議会に、職員の人件費及び地域福祉に関する事業経費等の助成を行う。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市地域福祉推進事業補助金交付要綱						
事業実施内容	地域福祉を推進するために、ふじさわボランティアセンターを運営し、各地区の社会福祉協議会及びボランティアセンター等と連携した取組を実施する藤沢市社会福祉協議会に、職員の人件費及び地域福祉に関する事業経費等の助成を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	78,084 千円	補助金(市単独)	78,084 千円	地域福祉推進事業補助金
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	78,084 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
	一般財源	78,084 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	20,988	19,623	9,324	79,037			
	(1)現金を伴う支出(千円)	21,410	20,307	9,349	79,048			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	18,546	19,343	8,382	78,084			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	964	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-422	-684	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-422	-684	-25	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	49.90	420,619	46.16	425,105	21.81	427,501	184.10	429,317

成果実績	指標名	ボランティア登録総数	目標	4,500	単位	5,000	単位	5,000	単位	5,250	単位
					人		人		人		人
			実績	4,343	単位	4,860	単位	5,196	単位	5,476	単位
				人		人		人		人	
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			4,832.60	4,037.65	1,794.46	14,433.35					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	複合化・複雑化する地域生活課題の解決に向けて, 地域で活動する多様なボランティアのニーズが高まっており, 担い手の育成やより効果的なマッチングが必要となる。
(2) (1)解決のための今後の取組	各地区社会福祉協議会等との情報連携を強化し, 地域生活課題の収集を様々な角度から実施することで, 各ボランティア活動と地域生活課題を結びつけるための環境づくりを行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市社会福祉協議会ボランティアセンターにおけるボランティアについては, 新規の個人登録者数は微増, 団体登録数は減少しているものの, ボランティア活動を継続している主体が増えていることから, ボランティアに携わる個人・団体の総数は昨年度より増加しており, ボランティア活動推進については一定の成果を得ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	超高齢化の進展などに対応するためには, 「支えあいの地域づくり」を進める必要があり, その重要な担い手であるボランティアの養成については, 学習から実践まで体系的に実施する必要があり, そのために市社会福祉協議会ボランティアセンター, 地区ボランティアセンター, 市民活動推進センター等の連携を進めていく。なお, 市社会福祉協議会のボランティアセンターについては, 福祉への専門性及びマッチングに関する取組を実施しており, 地域福祉の推進のために必要不可欠であることから, 当該事業を実施している市社会福祉協議会への補助は現状のまま維持する。 なお, オリンピック・パラリンピックのレガシーとして, 各種のボランティア人材について, 地域福祉分野での活動を視野に入れた取組を検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	社会福祉協議会の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	社会福祉総務事務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	013	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	福祉健康部内で購入する消耗品等の事務経費						
対象	4. その他	部内各課				11 室・課	
根拠法令等							
事業実施内容	部内で他事業に属さない一般事務及び課内一般事務を行い、円滑に部事業を実施する。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)			
	<input type="checkbox"/> その他	(:)			

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 679 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	47 千円	会議出席等出張費
		需用費	258 千円	参考図書, 消耗品費
		使用料及び賃借料	374 千円	複写機賃借料
財源内訳	H30年度 支出済額 679 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	679 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	6.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	6.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	69,386	69,008	58,779	67,327			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	55,772	66,440	56,865	65,241			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	17,583	20,142	799	679			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	38,189	46,298	56,066	64,562			
	職員数(常勤 非常勤)	4.00 0.00	4.80 0.00	5.80 0.00	6.70 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	36,160	43,685	53,470	61,419			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	2,029	2,613	2,596	3,143			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	13,614	2,568	1,914	2,086			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	13,614	2,568	1,914	2,086			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	164.96	420,619	162.33	425,105	137.49	427,501	156.82	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		部内で執行する諸経費であることから指標の設定が困難であるため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	部内で他事業に属さない一般事務及び課内事務を適正に執行できた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	部内事業を円滑に進めるため，部課内一般事務を今後も適正に行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	藤沢市社会福祉大会に関すること	無	無	1	
16	生活改善対策貸付事業	無	無		1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	法人等指導監査事務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	020	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	1 認可等に関する事務 法人設立認可に係る調整及び審査会の開催並びに認可法人の定款変更, 基本財産の処分等に係る審査, 認可等 2 指導監査に関する事務 法人運営及び会計に係る指導監査の実施 3 現況報告書の取りまとめ						
対象	3. 団体	社会福祉法人を設立しようとする事業者又は社会福祉法人			25	法人	
根拠法令等	法律等	社会福祉法					
事業実施内容	1 定款変更認可等審査・承認を行った 6件 2 法人に対する指導監査を実施し, 指摘事項に対して改善措置を講じるよう指導した 13法人 3 現況報告書の取りまとめを行った 25法人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 923 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		賃金	828 千円	臨時的任用職員賃金											
		旅費	9 千円	市内旅費, 国県説明会等出張費											
財源内訳	H30年度 支出済額 923 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.30</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.30	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.30
			平成30年度												
		正規職員等	1.30												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	1.30												
費目	支出済額 (千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金	5 千円														
県支出金															
その他 ()															
一般財源	918 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	25,475	13,927	17,586	12,062
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,008	15,337	17,339	13,450
	事業費(支出済額-②報酬合計)	868	868	906	923
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	18,140	14,469	16,433	12,527
	職員数(常勤 非常勤)	1.90 0.00	1.50 0.00	1.70 0.00	1.30 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	17,176	13,652	15,672	11,917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	964	817	761	610
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	6,467	-1,410	247	-1,388
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	6,467	-1,410	247	-1,388
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	60.57 420,619	32.76 425,105	41.14 427,501	28.10 429,317	

成果実績	指標名	指導監査実施法人数	目標	12	単位 法人	14	単位 法人	10	単位 法人	13	単位 法人	
			実績	12	単位 法人	14	単位 法人	10	単位 法人	13	単位 法人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		2,122,916.67	994,785.71	1,758,600.00	927,846.15						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	社会福祉法人に対して指導監査を行ったことにより, 社会福祉法人の運営等の改善に寄与することができ, その結果, 地域福祉の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	社会福祉法人に対する指導監査は, 社会福祉法に規定されているため, 今後も継続していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
8	社会福祉法人の設立認可	無	無	1	
9	社会福祉法人に対する指導監査	無	有	2	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	保健福祉総合システム運用管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	022	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	平成27年度に構築が開始された保健福祉総合システムについて、複雑化・多様化する保健福祉業務において、市民サービスの質的向上及びより円滑かつ確実な事務遂行が可能となるように、保守及び運用管理を行うもの。				
対象	4. その他	保健福祉総合システム利用課及び利用施設			30 課等
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市保健福祉総合システム運用管理に関する要綱				
事業実施内容	保険福祉総合システムの安定稼働のための運用管理を行うとともに、元号改正に係る対応等を実施した。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 日本電気株式会社湘南支店) (委託等内容 : システム保守及び元号改正対応に係る改修) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	50,960 千円	需用費	135 千円	プリンタ定着ユニット購入費											
		委託料(臨時)	17,544 千円	システム保守及び元号改正対応改修に係る業務委託											
		使用料及び賃借料	33,281 千円	システム機器賃借料											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
		平成30年度													
	正規職員等	0.50													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.50													
	支出済額	費目	支出済額(千円)												
50,960 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金	220 千円													
	県支出金														
	その他()														
一般財源		50,740 千円													

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		行政費用 A	207,891	221,889	52,957	54,789		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	204,487	219,225	56,529	55,779		
		事業費(支出済額-②報酬合計)	194,940	201,863	48,796	50,960		
		償還金利子	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	9,547	17,362	7,733	4,819		
		職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.80 0.00	0.80 0.00	0.50 0.00		
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167		
		①職員給与合計(常勤)	9,040	16,382	7,375	4,584		
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0		
		③退職金相当額	507	980	358	235		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	2,664	-3,572	-990		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	3,404	2,664	-3,572	-990		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	494.25	420,619	521.96	425,105	123.88	427,501	127.62	429,317

成果実績	指標名	システム利用ユーザ登録数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-		439		469		505	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	組織体制に伴いシステム利用ユーザ登録数は変動するものであり、目標を設定することができないため。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-			505,441.91		112,914.71			108,493.07

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	本市基幹系業務システムの更新に伴い，保健福祉総合システムの連携基盤として稼働していた部分について，将来の機器更新を踏まえて見直しを検討する必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	連携方法の見直し及び連携基盤として稼働していた部分により実施されている事業の洗い出し及びシステムの再構築を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	平成29年1月から更新・運用が開始された保健福祉総合システムについて，新たな福祉サービスへ対応するためのシステムの保守を行うとともに，セキュリティや個人情報保護など適正な運用管理が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	データ標準レイアウトの改版対応等について，遅滞なく対応を行うことで，福祉サービスの維持に努める。また，引き続き新たな福祉サービスへの対応，セキュリティや個人情報保護など適正な運用管理を進めるとともに，基幹系業務システムとの連携の見直しや将来の機器更新を見据えた対応を検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
5	保健福祉総合システムの運用管理に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	災害見舞金関係費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	04	目	01	細目	001	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づき、自然災害・火災等の被災者に災害弔慰金・見舞金を支給する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 住家等の火災2件で亡くなった3人の方の遺族に対し、災害弔慰金を支給した。 住家等の火災9件で被害を受けた罹災者に対し、災害見舞金を支給した。 住家等の暴風被害による半壊1件で被害を受けた罹災者に対し、災害見舞金を支給した。 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	支出済額	費目	支出済額 (千円)		主な事業内容
	2,840 千円	扶助費(国庫補助対象以外の事業)	2,840 千円		災害弔慰金2件2,000,000円 災害見舞金10件840,000円
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		平成30年度	
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	正規職員等	
	2,840 千円	分担金・負担金		0.20	
		使用料・手数料		再任用短時・任期付短時職員	
		国庫支出金		0.00	
		県支出金		非常勤職員	
		その他 ()		0.00	
	一般財源	2,840 千円	合計	0.20	

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	6,835	8,661	1,362	5,057			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,495	8,665	1,387	4,767			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,540	7,700	420	2,840			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	965	967	1,927			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	1,833			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	94			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	290			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	290			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	16.25	420,619	20.37	425,105	3.19	427,501	11.78	429,317

成果実績	指標名	災害弔慰金支給件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	2	単位	4	単位	0	単位	2	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		災害罹災者に対しての支給となり、災害罹災者数については目標を設定することができないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,417,500.00		2,165,250.00		-		2,528,500.00			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	災害見舞金等の支給手続きについて，罹災者の負担軽減を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	罹災者への見舞金等の支給にあたり，事務手続きの見直しを行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	災害弔慰金・見舞金を支給したことにより，罹災者の生活の安定が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	自然災害・火災等の被災者の生活の安定を図るため，引き続き災害弔慰金・見舞金を支給する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	災害援護事業	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	休日・夜間急病診療所運営費等補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	・藤沢市医師会が運営する休日・夜間急病診療所(保健医療センター・藤沢市医師会館併設)の運営費に対して補助する。 ・東湘(藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町)及び鎌倉市において輪番で実施する休日眼科救急医療の運営費に対して補助する。 ・藤沢市薬剤師会が南休日・夜間急病診療所で実施する薬剤師派遣事業の運営費に対して補助する。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会が運営する休日・夜間急病診療所(保健医療センター・藤沢市医師会館併設), 東湘(藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町)及び鎌倉市において輪番で実施する休日眼科救急医療, 藤沢市薬剤師会が南休日・夜間急病診療所で実施する薬剤師派遣事業それぞれの運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会, 一般社団法人藤沢市薬剤師会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 114,660 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	101,560 千円	休日・夜間急病診療所運営事業補助金
		負担金補助及び交付金	675 千円	眼科救急医療運営事業補助金
財源内訳	H30年度 支出済額 114,660 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	4,987 千円	
その他()				
一般財源	109,673 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	117,451	116,266	115,491	115,613			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	117,111	116,270	115,516	115,624			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	116,156	115,305	114,549	114,660			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	965	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	279.23	420,619	273.50	425,105	270.15	427,501	269.30	429,317

成果実績	指標名	休日・夜間急病診療所取扱患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			22,499	単位	23,111	単位	23,516	単位	22,094	単位
				人		人		人		人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が良い成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			5,220.28		5,030.76		4,911.17		5,232.78	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	特になし
(2)	(1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携調整を行い，休日・夜間等の一次救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制の充実は，市民の安全・安心な生活の確保に重要な取組であることから，事業実績や他市の状況を参考として，今後も持続可能な事業とするための見直しについて検討を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	在宅当番医制運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	02	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市医師会が運営し、市内医療機関で実施されている在宅当番医制（外科・産科）の運営費に対して補助する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会が運営し、市内医療機関で実施されている在宅当番医制（外科・産科）の運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 11,520 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	11,520 千円	在宅当番医制運営事業補助金
財源内訳	H30年度 支出済額 11,520 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	11,520 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	12,655	12,321	12,302	12,473			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,315	12,325	12,327	12,484			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,360	11,360	11,360	11,520			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	965	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	30.09	420,619	28.98	425,105	28.78	427,501	29.05	429,317

成果実績	指標名	在宅当番医制取扱患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			3,215	単位	2,929	単位	2,694	単位	集計中	単位
				人		人		人		人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が良い成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,936.24		4,206.56		4,566.44		-		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	特になし
(2)	(1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携・調整を行い，休日・夜間等の一次救急医療体制の維持に努めた。		
今後の方針	事業の方向性	現状維持	
	救急時の医療体制の充実は，市民の安全・安心な生活の確保に重要な取組であることから，事業実績や他市の状況を参考として，今後も持続可能な事業とするための見直しについて検討を進める。		

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	病院群輪番制運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	03	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 53 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市医師会が夜間における二次救急医療として運営し、市内の病院で実施されている病院群輪番制の運営費に対して補助する。また、三次救急医療支援として行われる藤沢市民病院救命救急センターからの転送患者の受け入れに係る経費を補助する。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会が夜間における二次救急医療として運営し、市内の病院で実施されている病院群輪番制の運営費及び、三次救急医療支援として行われる藤沢市民病院救命救急センターからの転送患者の受け入れに係る経費に対し補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	77,945 千円	病院群輪番制運営事業補助金
		負担金補助及び交付金	300 千円	病院群輪番制病床確保対策費補助金
	78,245 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
	78,245 千円	一般財源	78,245 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	80,901	79,476	79,416	79,198			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	80,561	79,480	79,441	79,209			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	79,606	78,515	78,474	78,245			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	965	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	192.34	420,619	186.96	425,105	185.77	427,501	184.47	429,317

成果実績	指標名	病院群輪番制取扱患者数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
			実績	4,911	単位 人	3,995	単位 人	4,016	単位 人	集計中	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が良い成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		16,473.43		19,893.87		19,774.90		—			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携・調整を行い，休日・夜間等の二次救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制の充実は，市民の安全・安心な生活の確保に重要な取組であることから，事業実績や他市の状況を参考として，今後も持続可能な事業とするための見直しについて検討を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	休日急患歯科診療所運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	04	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 51 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市歯科医師会が運営する休日急患歯科診療所（口腔保健センター）の運営費に対して補助する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市歯科医師会が運営する休日急患歯科診療所（口腔保健センター）の運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市歯科医師会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	7,726 千円	補助金及び交付金	7,726 千円	休日急患歯科診療所運営事業補助金
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	7,726 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
	一般財源	7,726 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	16,777	16,339	10,987	8,679			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	16,437	16,342	11,012	8,690			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	15,482	15,378	10,045	7,726			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	39.89	420,619	38.44	425,105	25.70	427,501	20.22	429,317

成果実績	指標名	休日急患歯科診療所患者数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績			811	単位 人	699	単位 人	563	単位 人	537	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が良い成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		20,686.81		23,374.82		19,515.10		16,162.01		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市歯科医師会と連携・調整を行い，休日の歯科救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制の充実は，市民の安全・安心な生活の確保に重要な取組であることから，事業実績や他市の状況を参考として，今後も持続可能な事業とするための見直しについて検討を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	産科医師等分娩手当補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	007	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	市内の産科医療の確保と充実を図るため、産科医師、産婦人科医師及び助産師に対し、分娩を取り扱った際に支給される手当(分娩手当)についての補助を行う。						
対象	3. 団体	市内分娩取扱医療機関			3	機関	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市産科医師等分娩手当補助金交付要綱					
事業実施内容	市内3医療機関の産科医師、産婦人科医師及び助産師に対し、分娩手当の補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 市内分娩取扱医療機関) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	1,246千円	負担金補助及び交付金	1,246千円	産科医師等分娩手当補助金											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.10	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.10
		平成30年度													
	正規職員等	0.10													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.10													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
1,246千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金	1,246千円													
	その他()														
	一般財源														

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	2,991	2,620	2,651	2,199
	(1)現金を伴う支出(千円)	2,651	2,623	2,676	2,210
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,696	1,659	1,709	1,246
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	964
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	51	54	45	47
	(2)現金を伴わない支出(千円)	340	-3	-25	-11
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	7.11 420,619	6.16 425,105	6.20 427,501	5.12 429,317	

成果実績	指標名	補助対象分娩取扱件数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績			510	単位 件	498	単位 件	513	単位 件	374	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	本事業の性質から、医療機関の分娩取扱件数を目標とすることはできないため、目標値は設定しない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				5,864.71		5,261.04		5,167.64		5,879.68	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	分娩取扱医療機関，産科医師，産婦人科医師及び助産師の確保と充実を図るため，分娩取扱件数に応じて支給される分娩手当の一部を補助した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	分娩取扱医療機関，産科医師，産婦人科医師及び助産師の確保と充実を図るため，今後も継続して補助を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

成果実績	指標名	検診・検査外来受診者及び健康づくり事業参加者	目標	75,122	単位	75,445	単位	81,925	単位	86,171	単位
			実績	80,906	単位	82,125	単位	84,294	単位	85,156	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,376.10	1,371.45	1,324.97	1,302.54					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	保健医療センターが建設されてから25年経過して施設・設備の老朽化が進んでいるため，施設内における各種事業に支障が生じないように適正に管理を行っていく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	定期的な保守点検や補修等により施設・設備の長寿命化を図り，事業運営に支障が生じないように計画的に整備を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化や不具合が発生した施設・設備について計画的に修繕等を実施し，適正に施設運営業務を行うことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	施設・設備の維持管理については，省エネ対策としての照明のLED化など，今後とも効率的な運用を検討しながら適正に行っていく。また，保健医療財団の安定的な事業運営を図るため，事務局運営に係る人件費補助を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
15	保健医療財団の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	保健衛生総務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	011	説明	01	課等の長	蓑原 純一	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	救急医療機関外国籍市民対策費補助金, 藤沢市口腔保健センター再整備資金借入補助金の交付を行う。						
対象	3. 団体	公益社団法人藤沢市歯科医師会			1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市救急医療機関外国籍市民対策費補助金交付要綱, 口腔保健センター再整備資金借入補助金交付要綱					
事業実施内容	藤沢市歯科医師会が行う口腔保健センター再整備事業における資金借入に対する返済金の補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市歯科医師会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,971 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	1,971 千円	藤沢市口腔保健センター再整備資金借入補助金
財源内訳	H30年度 支出済額 1,971 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	1,971 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	29,917	24,274	-3,493	2,924			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	23,110	24,338	2,938	2,935			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,016	5,047	1,971	1,971			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	19,094	19,291	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.00 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	18,080	18,202	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,014	1,089	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	6,807	-64	-6,431	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-64	-6,431	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	71.13	420,619	57.10	425,105	-8.17	427,501	6.81	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	資金借入に対する返済金の補助のため指標の設定が困難である。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	補助金の交付により，市民の口腔保健向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き，補助金の交付により衛生行政を円滑に遂行していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	福祉健康部	氏名	片山 睦彦	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	医師会立看護専門学校運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	013	説明	01	課等の長	蓑原純一	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南東部医療圏(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)における看護師不足の解消を図るため、藤沢市医師会が運営する看護専門学校の運営費に対し、補助を行うもの。						
対象	3. 団体	公益社団法人藤沢市医師会			1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市医師会立湘南看護専門学校運営費補助金交付要綱					
事業実施内容	藤沢市医師会立湘南看護専門学校の運営費の一部を補助するもの。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	22,109千円	補助金	22,109千円	運営費の一部補助											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.30</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.30	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.30
		平成30年度													
	正規職員等	0.30													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.30													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
22,109千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他(土地貸付収入)	1,800千円													
	一般財源	20,309千円													

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	13,761	14,097	14,648	25,592			
	(1)現金を伴う支出(千円)	13,421	14,100	14,673	25,000			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	12,466	13,136	13,706	22,109			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	2,891			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	2,750			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	141			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	340	-3	-25	592			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	592			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	32.72	420,619	33.16	425,105	34.26	427,501	59.61	429,317

